

第7回 IEHE教育開発セミナー

「大学教育において、学生相談・特別支援はどのような役割・機能を担うのか」

日時：2017年 **9月28日**（木）16:30～17:50

会場：教育・学生総合支援センター東棟 4階大会議室



報告：学生相談・特別支援センター

▶ 発表1 「学生相談・特別支援センターの活動を見渡す」

学生相談・特別支援センター教授 池田 忠義

学生相談・特別支援センターは、学生相談所と特別支援室からなり、それぞれが独自の役割・機能を持ちながら、緊密に連携している。また、当センターは、学生やその関係者への個別相談に対応しつつ、そこにとどまらず、教育や研究等、幅広い活動を行っている。

これらの活動について紹介し、大学教育の一環としての学生相談・特別支援、当センター・スタッフと学内教職員との連携のあり方について、参加者の皆様と一緒に考える契機としたい。

▶ 発表2 「学生相談所の相談統計と模擬事例をもとにした相談活動の紹介」

学生相談・特別支援センター准教授 中島 正雄

学生相談所の相談活動は学生との個別相談だけではなく、教職員や学生の家族を対象としたコンサルテーションも含まれる。また、相談内容としては学業・進路、対人関係、心身の健康、生活に分類される。多岐にわたる相談活動について、まずは相談統計の特徴を示し、その上で模擬事例をもとに学生相談所の活動をご紹介します。

▶ 発表3 「特別支援室による障害のある学生への相談・支援活動の紹介」

学生相談・特別支援センター講師 長友 周悟

特別支援室は平成26年4月に設置された、障害学生支援の専門部署である。障害のある、あるいは障害の疑いのある学生への相談・支援のほか、家族や教職員へのコンサルテーション、教職員との連携・協働、合理的配慮の提供のためのアセスメント、学生サポーターの養成、学内啓発など幅広い活動を行っている。これらの活動内容を紹介するとともに、大学における障害のある学生への相談・支援活動にある教育的意味について述べる。